山形県と関係機関の連携による看護師等総合キャリアアップの支援



山形方式・看護師等生涯サポートプログラム

~ 県内で就業する看護師等の皆様へ~ 山形県と関係機関は、県内で活躍する皆さんを一生涯応援します 県内では、多くの看護師等を必要としています。

《山形県看護職員需給推計(令和2年3月)》

- * 地域医療構想に基づく 2025 年(令和 7 年)時点で の病床数を用いた推計
- * 厚生労働省の推計方法を基本としつつも、可能な限り本県の実態に即した県独自の推計を実施
- * 働き方改革による勤務環境改善の観点から、全ての 看護職員が、超過勤務 10 時間以内/月·有休取得 10 日以上/年を達成することを前提に算定

山形県看護職員需給推計 2025 年(令和7年)	
需要数	17, 412 人
供給数	16, 768 人
不足数	644 人

4つの施策を柱とする『山形方式・看護師等生涯サポートプログラム』を 策定。総合的な看護師等確保対策に取り組みます。

プログラムの実行・

評

価

① 学生の確保定着

看護師等を志望する若者の育成(看護師等体験セミナー、県内就業に関するガイダンスの開催)、 看護職員修学資金の貸与(月額5万円・新規80人)、Uターン支援のための情報発信・相談

② キャリアアップ(レベルアップ)

認定看護師資格取得・特定行為研修受講の促進・支援、病院における研修指導者の育成中小規模施設向け出前講座の実施、災害支援ナース育成研修の実施 等

3 離職防止

新人看護職員研修(病院内研修への支援等)の実施、病院内保育所の運営支援、 勤務環境の改善支援(専門アドバイザーによる助言等)、看護補助者の確保・養成等

4 再就業促進

①看護学生の県内定着率

4ナースセンターによる再就業率

ナースセンターによる再就業の相談·斡旋、復職研修(病院等実地研修・e-ラーニング) 移住定住施策との連携 等

『山形方式・看護師等生涯サポートプログラム』における達成目標

<H30 年度実績>

〈R7年度目標>

·看護師 3 年課程 全国平均以上

50%以上

·大学

50%以上

 ・大学
 ・45.3%(全国62.1%)

 ・看護師3年課程
 ・78.6%(全国83.5%)

 県出身の県外看護学生のリターン率
 43.6%

 ②特定行為研修修了看護師数
 15 人

 ③新人看護職員の離職率
 6.5%

150 人以上 4.0%以下 50.0%以上

35.3%

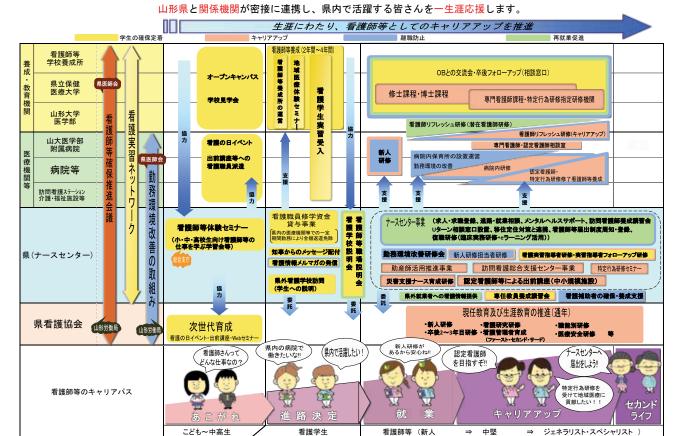
山形方式・看護師等生涯サポートプログラム策定

本県の医療提供体制の充実強化を図るため、関係機関と連携しながら、看護師確保対策を総合的かつ一体的に展開することで看護師等の確保・育成・県内定着を推進する。

現状と課題 対応の方向 施策の展開 役割分担 県 看護師等養成機関(大学・学校) ①医療現場の深刻 ●総合的な看護師確保対策の推進 ①学生確保定着 な看護師不足 ⇒「学生の確保定着」「キャリアアッ ●総合的な看護師 ●学生の確保および質 プ」「離職防止」「再就業促進」の四 ②キャリアアップ 確保対策の推進 の高い看護師の養成 ②学生の県内定着率 つの施策を柱とした「山形方式・看 (資質向上) ●関係機関のコー ●卒業後の県内就業・ が低い 護師等生涯サポートプログラム」に ディネートおよ 定着の誘導 基づき、総合的に施策を展開する。 ③離職防止 び施策評価 支援 ③高齢化・医療 ●各関係機関の役割分担の明確化 ニーズの多様化 ⇒県のみならず関係機関を含め、本県 ④再就業促進 連携 への対応や個人 の看護師確保対策に係る責務と役割 のモチベーション を明確化するとともに、密接に連携 県看護協会 支援 医療機関など 向上のための専門 しながら取り組む ●次世代を担う人材 ●働き続けられる職場 性志向の高まり ●具体的な達成目標設定と施策の評 の育成 環境の整備 価・検証 ●現任教育・生涯 ●専門性や能力に対する ⇒毎年度、各施策の効果などの評価・ 教育の推進 適性な評価 検証を行い、PDCAサイクルにより、 ●再就業促進 ●看護学生の実習の受 施策の実効性を高める け入れ

『山形方式・看護師等生涯サポートプログラム』

令和5年度



詳細は山形県ホームページをご覧ください。

山形県 看護師確保



→ 〒990-8570 山形市松波二丁目8-1 山形県健康福祉部 医療政策課 地域医療支援室

TEL: 023-630-2258 Email: yiryoseisaku@pref.yamagata.jp